

第7回8020童話賞

一般の部 「最優秀賞」作品

「まきちゃんのだのしい歯のはなこ」

まきちゃんは元気な一年生です。おばあちゃんとても仲よしで、学校から帰ってくる時、いつもおばあちゃんのおへやにいて、おとうのとまちゃんと三人であそびます。とまちゃんはようちえんのキリン組さんです。

今日は学校ごっこ。まきちゃんが先生で、おばあちゃんともちゃんがせいとです。お絵かきをしたり、おうたをうたったり、おべんきょうもしました。

だいすきなおばあちゃんは、いつもいえているのですが、ときどきろうじん会へ出かけます。近くのおとしよりがあつまって、おはなし会やおべんきょう会、りょこうやおたのみ会などいろいろなことをするのです。

土ようびや日よう日にろうじん会があると、おばあちゃんがいよいよというときには、まきちゃんもついていきます。

まえに、おまわりさんやこうつうしどういんのお姉さんたちが、おとしよりの人たちに交通あんぜんのげきをやってくれて、とてもたのしかったのをおぼえています。

ぬいぐるみのトラくんが、おうだんほどの正しいわたり方などをおしえてくれるのです。まきちゃんにもよくわかりました。

こんどの土よう日のろうじん会では、ほけんしさんたちがクイズをやってくれるというので、まきちゃんはまたおばあちゃんにつれて行ってもらうことにしました。「お口のけんこう」というおはなしの会だそうです。

さて、ろうじん会に行く日になりました。こうみんかんに行くと、もう十二、三人のおとしよりがあつまっていました。どんなクイ

ズかな、当たると何かもらえるのかな、と、まきちゃんはドキドキしています。ほけんしさんとしかえいせいしさんが出てきて、かために○、うらがわに×が書いてあるうちわがくばられました。いよいよクイズがはじまります。

まきちゃんはおばあちゃんといっしょにかんがえることにしました。

「では、おもしろクイズをはじめます。一ばん、にわとりにも歯がある。さあ、どうでしょう？にわとりにも歯があると思う人は○を、ないと思う人は×を出してください。」

まきちゃんのかんがえました。(にわとりかあ…見たことはあるけど、口の中までは見たことないなあ…くちばしの中に歯があるのかなあ…) おばあちゃんもこまったようすです。

「でも、にわとりはエサを食べるとき、くちばしでつまんで上をむいて飲みこむもんねえ。」

二人でそうだんしたけっか、×にしました。すると、大当たり！やっぱり歯はありません。まきちゃんとおばあちゃんはニコニコ。

二ばん目のクイズです。

「あの海にいるこわいサメ、あのサメの歯は何回もはえかわる。さあ、どうでしょう？」

まきちゃんはこまってしまいました。(むずかしいなあ…何回もはえかわるなんてそんなべりな歯があるのかなあ…きいたことないなあ…) また二人でそうだんして×にしました。すると、せいかいは○。ざんねん、こんどははずれてしまいました。

「つぎはどうぶつ園にいるおさるさんのクイズですよ。あのおさるさんは人間とおなじで、さいしょに乳歯がはえてつきにおとなの歯の永久歯にはえかわる。さあどうでしょう？」

まきちゃんとおばあちゃんはまたまたこまってしまいました。(おさるさんかあ…人間

とにているけど、おなじわけはないだろうなあ…。(二人でよくよくかんがえて、×にしました。)

すると、せいかいは○、ざんねん！又はずれでした。(そうか、おさるさんは人間とおなじなんだー。)(おさるさんも虫歯になるときて、まきちゃんもびっくりにしました。)(おさるさんも歯みがきするのかなあ…。そういえばテレビでどうぶつ園のカバさんに、しいくいんの人が大きな歯ブラシで歯みがきしているのを見たことがあるなあ…。みんな虫歯にならないようにどりよくしているんだな。)

四ばん目のクイズです。

「さあ、つぎはビーバーの歯のクイズです。ビーバーの歯は、何もしないとのびつつける、さあどうでしょうか？のびつつけると思う人は○、そう思わない人は×を出してください。」

まきちゃんは、ビーバーが水の中で木をかじってそれをあつめておうちをつくることはしていました。(でも歯がのびつつけるなんて、ありえない…。)(ところがおばあちゃんがいいました。

「まきちゃん、これ、まえにテレビでやっていたよ。ビーバーは前歯で木をかじって、歯をけずっているんだって。○、○だよ。」

二人はいそいで○を出しました。すると…やった、せいかいでした。まきちゃんはビーバーもたいへんだなあと思いました。

いよいよさいこのクイズになりました。「みなさん、8020うんどうってしていますか？8020うんどうとは、80才の人も20才のひとも仲良くしましょう、といううんどうです、○か×か。さあどうでしょうか？」

まきちゃんこれはしていました。学校の歯みがき教室でできたばかりだったからです。(これは×だ！)でもおばあちゃんは二〇二〇して○を出そうとしています。

まきちゃんは

「おばあちゃん、ちがうちがう、×だよ！」とあわててうちわをひっくりかえして×にしました。ちょうどそのとき、しかえいせいしさんが

「これは80才で20本の歯をのこそう、といううんどうですから、×がせいかいです。」といいました。おばあちゃんは

「まきちゃんのおかげであたったよ。」とうれしそう。歯が20本あると、たべものがよくかめて、元気で長生きできるそうです。

クイズのあとは、歯のみがきかたやいれぱのあらいかたのおはなしがありました。

それから、おもしろかったのは、口のまわりのきんにくのくんれんです。口を大きくあけて「アイウエオ」といったり、ペロを思いっきり出したり、ひっこめたり、右左にうごかしたり…。まきちゃんもいっしょにやりました。みんなの顔を見ると目玉もいっしょにうごかしていて、おもしろくなってわらってしまいました。おばあちゃんたちもみんななのしそうにやっていました。

しかえいせいしさんがまきちゃんに「おばあちゃんといっしょに歯をたいせつにね。」

といって○×のうちわを一つくれました。まきちゃんは(やった、帰ったら、これでもちゃんと今日のクイズをやってあげよう)と思いました。

帰り道、まきちゃんはおばあちゃんと手をつなぎながら今日のろうじん会のおはなしをしました。

「今日のクイズのせいせきは3しよう2はいだったね。いろいろな歯があるんだね。うちわももらったし、たのしかったね。」

おばあちゃんは80才でいれぱをしています。自分の歯ものこっていてあと10本あるといっています。

「おばあちゃんは8010だね。でも元気だし、長生きできるよね？」

まきちゃんはしんばいになりました。

「そうそう、だいじょうぶ、いればをいれると8028になるよ。おせんべいもたべられるし。でも、これ以上じぶんの歯をなくさないように気をつけないとね。」

とおばあちゃんはいいました。まきちゃんは前歯とおく歯におとなの歯がはえてきました。

おばあちゃんもまきちゃんも、歯をだいにしようね、とやくそくしました。

いえに帰ると、まきちゃんはさっそくOXのうちわをとまちゃんにわたして、さっきのクイズをはじめました。にわとり、サメ…どのクイズもちっとも当たらないので、ともちゃんはたんきをおこして

「じゃあ、そのきばは歯？きょうりゅうの歯は何本あるの？」

とか、ぎゃくにきいてきました。まきちゃんもおばあちゃんもわからないのでこまってしまいました。夕ごはんのとき、お父さんやお母さんにきいてもわかりませんでした。

ごはんのあと、パソコンでみると、そのきばは歯がへんけいしたものと、いうことがわかりました。きょうりゅうの歯のかずはやっばりわかりませんでした。でも、どんなどうぶつも、じょうぶな歯がないとえものをとれないし、たべものがかめないので、長生きできないのだということがわかりました。まきちゃんは、いろいろなどうぶつの歯は何本あって、どんなかたちになっているのかなと、だんだんきょうみがわいてきました。

「こんどとしょかんへ行ったらべてみようね。」

と、おばあちゃんがいました。

その日の夜のことです。

まきちゃんがねようと思ってベッドにはいり、お月さまをながめていると…お月さまの中のおさぎさんが手をふっています。

あれっと思っていると、スルスルっと白いひものようなものがおりてきました。うさぎ

さんの前歯がのびてきたのです。

まきちゃんとはびのってブランコにしました。ぴゅーん、ぴゅーんと、はじめは小さく、だんだん大きくゆらしました。ぴゅーんぴゅーん：気がつくともちゃんもいっしょでした。ぴゅーんぴゅーん：そらたかく、おうちのやねの上、畑、山、海の上をぴゅーんぴゅーん、とてもきもちよくて鳥になった気分です。

ところが！そのときです。ポキン！ふたりであんまりはしゃぎすぎたのか、うさぎさんの歯が上の方でおれてしまいました。「うわゝたすけて〜！」

ドスン！

「ここはどこ…？」

あたりをみまわすと…まきちゃんはベッドからおっこちていました。

「なーんだ、ゆめだったのか…！」

よかったね、まきちゃん。ともちゃんを見ると、となりでグーグーねています。お月さまを見ると、うさぎさんが歯みがきをしているように見えました。

そうだ、そういえば夜の歯みがきをわすれてた！うさぎさんが歯みがきをわすれないように、おしえてくれたのかな。

歯をたいせつにしてながもちさせよう、8020をめざそうとおばあちゃんとやくそくしたことを思いだして、まきちゃんはいねいに歯みがきをしました。